

<表 9> データベースに使用しているソフト（複数回答あり）

	人口規模				全体
	～7,999人	8,000～ 19,999人	20,000～ 99,999人	100,000人～	
回答数	105	186	472	185	948
情報システム業者が 開発したパッケージ	71 (67.6%)	143 (76.9%)	393 (83.3%)	136 (73.5%)	743 (78.4%)
市販のDBソフトを利用 して市町村内部で開発	25 (23.8%)	38 (20.4%)	66 (14.0%)	23 (12.4%)	152 (16.0%)
その他	10 (9.5%)	17 (9.1%)	32 (6.8%)	32 (17.3%)	91 (9.6%)

<表 10> データベースへの入力項目

		人口規模				全体
		～7,999人	8,000～ 19,999人	20,000～ 99,999人	100,000人 ～	
健診データ	回答数	104	188	473	188	953
	ほぼ全項目を入力	48 (46.2%)	79 (42.0%)	203 (42.9%)	93 (49.5%)	423 (44.4%)
	項目を選択して入力	46 (44.2%)	86 (45.7%)	229 (48.4%)	86 (45.7%)	447 (46.9%)
	入力していない	10 (9.6%)	23 (12.2%)	41 (8.7%)	9 (4.8%)	83 (8.7%)
問診票データ	回答数	102	182	464	183	931
	ほぼ全項目を入力	17 (16.7%)	36 (19.8%)	80 (17.2%)	39 (21.3%)	172 (18.5%)
	項目を選択して入力	46 (45.1%)	93 (51.1%)	257 (55.4%)	91 (49.7%)	487 (52.3%)
	入力していない	39 (38.2%)	53 (29.1%)	127 (27.4%)	53 (29.0%)	272 (29.2%)

<表 11> 健診データの入力時期、入力者（入力方法）（複数回答あり）

		人口規模				全体
		～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人 ～	
入力時期	回答数	94	165	434	179	872
	健診中にリアルタイムで	1 (1.1%)	1 (0.6%)	7 (1.6%)	2 (1.1%)	11 (1.3%)
	健診終了後、 その日のうちに	22 (23.4%)	25 (15.2%)	53 (12.2%)	18 (10.1%)	118 (13.5%)
	健診終了後、 後日に	79 (84.0%)	153 (92.7%)	404 (93.1%)	169 (94.4%)	805 (92.3%)
入力方法	回答数	94	163	430	179	866
	市町村の母子保健担当者	88 (93.6%)	144 (88.3%)	364 (84.7%)	117 (65.4%)	713 (82.3%)
	母子保健担当者以外の市町 村職員（非常勤含む）	3 (3.2%)	18 (11.0%)	69 (16.0%)	22 (12.3%)	112 (12.9%)
	外部入力業者に発注	2 (2.1%)	3 (1.8%)	33 (7.7%)	49 (27.4%)	87 (10.0%)
	OCR、マークシートを利用	0 (0.0%)	1 (0.6%)	3 (0.7%)	17 (9.5%)	21 (2.4%)
	その他	4 (4.3%)	9 (5.5%)	19 (4.4%)	7 (3.9%)	39 (4.5%)

<表 12> 問診票データの入力時期、入力者（入力方法）（複数回答あり）

		人口規模				全体
		～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人 ～	
入力時期	回答数	64	129	341	134	668
	健診中にリアルタイムで	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.9%)	1 (0.7%)	4 (0.6%)
	健診終了後、 その日のうちに	14 (21.9%)	17 (13.2%)	29 (8.5%)	11 (8.2%)	71 (10.6%)
	健診終了後、 後日に	56 (87.5%)	122 (94.6%)	327 (95.9%)	127 (94.8%)	632 (94.6%)
入力方法	回答数	59	126	331	132	648
	市町村の母子保健担当者	55 (93.2%)	110 (87.3%)	270 (81.6%)	81 (61.4%)	516 (79.6%)
	母子保健担当者以外の市町 村職員（非常勤含む）	2 (3.4%)	13 (10.3%)	60 (18.1%)	15 (11.4%)	90 (13.9%)
	外部入力業者に発注	1 (1.7%)	2 (1.6%)	25 (7.6%)	38 (28.8%)	66 (10.2%)
	OCR、マークシートを利用	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (0.6%)	15 (11.4%)	18 (2.8%)
	その他	3 (5.1%)	7 (5.6%)	16 (4.8%)	8 (6.0%)	34 (5.2%)

<表 13> 対象者が成人になっても母子保健データが利用できるよう、
成人保健のデータベースと連動しているか？

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	104	183	463	183	933
連動している	34 (32.7%)	54 (29.5%)	141 (30.5%)	65 (35.5%)	294 (31.5%)
連動していない	70 (76.3%)	129 (70.5%)	322 (69.5%)	118 (64.5%)	639 (68.5%)

<表 14> データベースのデータエクスポート機能の有無

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	96	174	443	185	898
ある	55 (57.3%)	104 (59.8%)	318 (71.8%)	147 (79.5%)	624 (69.5%)
なし	41 (42.7%)	70 (40.2%)	125 (28.2%)	38 (20.5%)	274 (30.5%)

<表 15> データベースシステムのデータ集計機能の有無

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	102	183	463	187	935
機能なし	12 (11.8%)	22 (12.0%)	32 (6.9%)	9 (4.8%)	75 (8.0%)
機能があり、 利用している	73 (71.6%)	140 (76.5%)	380 (82.1%)	164 (87.7%)	757 (81.0%)
機能はあるが 利用していない	16 (15.7%)	21 (11.5%)	40 (8.6%)	9 (4.8%)	86 (9.2%)

<表 16> 母子保健データベース未導入自治体の今後のデータベース導入予定

	人口規模				全体
	～7,999人	8,000～ 19,999人	20,000～ 99,999人	100,000人～	
回答数	206	164	179	73	622
導入の予定あり	17 (8.3%)	22 (13.4%)	30 (16.8%)	27 (37.0%)	96 (15.4%)
導入したいが、 今のところ予定なし	108 (52.4%)	93 (56.7%)	109 (60.9%)	35 (47.9%)	345 (55.5%)
導入したいと思わない	81 (39.3%)	49 (29.9%)	40 (22.3%)	11 (15.1%)	181 (29.1%)

母子保健データの利活用状況について

<表 17> 健診・問診項目の調査状況

		1歳6ヶ月健診 における児の 身長・体重	1歳6ヶ月健診 における医師 の判定結果	妊娠届 出時の 状況 (喫煙 状況など)	育児期 間中の 母の喫 煙状況	育児不 安に関 して	虐待(親 子関係) に関し て	家庭に おける 事故予 防対策 に関し て
調査の 有無	回答数	1577	1572	1545	1548	1570	1561	1563
	調査している	1573 (99.7%)	1565 (99.6%)	1374 (88.9%)	573 (37.0%)	1512 (96.3%)	1193 (76.4%)	553 (35.4%)
	調査していない	4 (0.3%)	7 (0.4%)	171 (11.1%)	974 (62.9%)	58 (3.7%)	368 (23.6%)	1010 (64.6%)

<表 18> 各項目の調査実施市町村におけるDBへの入力および集計・分析状況

		1歳6ヶ月健診における児の身長・体重	1歳6ヶ月健診における医師の判定結果	妊娠届出時の状況（喫煙状況など）	育児期間中の母の喫煙状況	育児不安に関して	虐待（親子関係）に関して	家庭における事故予防対策に関して
データへの入力	回答数	1556	1548	1359	567	1500	1181	551
	入力している	708 (45.5%)	834 (53.9%)	684 (50.3%)	204 (36.0%)	542 (36.1%)	396 (33.5%)	174 (31.6%)
	入力していない	848 (54.5%)	714 (46.1%)	675 (49.7%)	363 (64.0%)	958 (63.9%)	785 (66.5%)	377 (68.4%)
データの集計・分析	回答数	1528	1529	1334	550	1398	1086	503
	コンピュータで集計・分析	481 (31.5%)	685 (44.8%)	493 (37.0%)	152 (27.6%)	358 (25.6%)	263 (24.2%)	119 (23.7%)
	手集計	408 (26.7%)	644 (42.1%)	468 (35.1%)	187 (34.0%)	521 (37.3%)	443 (40.8%)	194 (38.6%)
	集計・分析せず	639 (41.8%)	200 (13.1%)	373 (28.0%)	211 (38.4%)	519 (37.1%)	380 (35.0%)	190 (37.8%)

<表 19> 健診・問診項目の集計・分析結果利活用状況（複数回答あり）

		1歳6ヶ月健診における児の身長・体重	1歳6ヶ月健診における医師の判定結果	妊娠届出時の状況（喫煙状況など）	育児期間中の母の喫煙状況	育児不安に関して	虐待（親子関係）に関して	家庭における事故予防対策に関して
利活用状況	調査市町村数	1573	1565	1374	573	1512	1193	553
	都道府県へ定期的に報告	637 (40.5%)	1027 (65.6%)	527 (38.4.1%)	83 (14.5%)	241 (15.9%)	250 (21.0%)	107 (19.3%)
	内部資料として事業の企画や評価に利用	674 (42.8%)	879 (56.2%)	790 (57.5%)	318 (55.5%)	779 (51.5%)	615 (51.6%)	266 (48.1%)
	広報誌などを通じての住民への情報提供	57 (3.6%)	46 (2.9%)	59 (4.3%)	27 (4.7%)	45 (3.09%)	25 (2.1%)	26 (4.7%)
	個人へ集計結果を還元	46 (2.9%)	40 (2.6%)	25 (1.8%)	11 (1.9%)	32 (2.1%)	24 (2.0%)	13 (2.4%)
	医療機関へ集計結果を還元	45 (2.9%)	79 (5.0%)	23 (1.7%)	10 (1.7%)	26 (1.7%)	21 (1.8%)	8 (1.4%)
	公衆衛生学会など専門家の会議で報告	9 (0.6%)	10 (0.6%)	9 (0.7%)	4 (0.7%)	20 (1.3%)	15 (1.3%)	2 (0.4%)
	その他	38 (2.4%)	33 (2.1%)	45 (3.3%)	26 (4.5%)	70 (4.6%)	62 (5.2%)	24 (4.3%)

<表 20> 都道府県から提供されている、同一都道府県の他の市町村における母子保健統計情報を地域の母子保健活動に利用しているか？

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	257	311	557	226	1351
利活用している	82 (31.9%)	134 (43.1%)	251 (45.1%)	114 (50.4%)	581 (43.0%)
あまり利活用できていない	122 (47.5%)	118 (37.9%)	225 (40.4%)	61 (27.0%)	526 (38.9%)
どちらともいえない	53 (20.6%)	59 (19.0%)	81 (14.5%)	51 (22.6%)	244 (18.1%)

<表 21> 貴市町村の母子保健データの集計・分析作業をどこで行うのがよいか？（複数回答あり）

	全体
回答数	1564
市区町村で行う	1057 (67.6%)
保健所が管轄市町村の分を まとめて集計・分析し、各市町村に還元	1019 (65.1%)
都道府県が集計・分析し、各市町村に還元 業者・シンクタンク	862 (55.1%)
94 (6.0%)	
大学などの研究期間	266 (17.0%)
国（厚生労働省など）	214 (13.7%)
その他	13 (0.8%)
集計や分析の必要はない	4 (0.3%)

<表 22> 貴市町村では同一個人の異なる時期の乳幼児健診データを連結して集計・分析していますか？

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	316	350	639	258	1563
行っている	95 (30.1%)	95 (27.1%)	183 (28.6%)	87 (33.7%)	460 (29.4%)
行っていない	221 (69.9%)	255 (72.9%)	456 (71.4%)	171 (66.3%)	1103 (70.6%)

乳幼児健診時の問診票・健診項目について

<表 23> 今後、エビデンスに基づいた健診項目、問診項目や調査票のひな形が提示されれば
取り入れるか？

		人口規模				全体
		～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人 ～	
健診で測定する 項目	回答数	318	352	644	259	1573
	はい	220 (69.2%)	252 (71.6%)	425 (66.0%)	155 (59.8%)	1052 (66.9%)
	いいえ	3 (0.9%)	1 (0.3%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	6 (0.4%)
	わからない	95 (29.9%)	99 (28.1%)	217 (33.7%)	104 (40.2%)	515 (32.7%)
問診票	回答数	317	352	641	256	1566
	はい	219 (69.1%)	252 (71.6%)	422 (65.8%)	152 (59.4%)	1045 (66.7%)
	いいえ	3 (0.9%)	1 (0.3%)	2 (0.3%)	0 (0.0%)	6 (0.4%)
	わからない	95 (30.0%)	99 (28.1%)	217 (33.9%)	104 (40.6%)	515 (32.9%)

<表 24> 乳幼児健診で得られたデータを利活用するために必要と思うもの（複数回答）

		人口規模				全体	
		～7,999人	8,000～ 19,999人	20,000～ 99,999人	100,000人 ～		
健診項目	回答数	306	343	621	254	1524	
	集計法・活用法を示した マニュアル	192 (62.7%)	222 (64.7%)	393 (63.3%)	159 (62.6%)	966 (63.4%)	
	データを管理する 乳幼児健診データベース	136 (44.4%)	176 (51.3%)	328 (52.8%)	140 (55.1%)	780 (51.2%)	
	自動解析ソフト	141 (46.1%)	192 (56.0%)	383 (61.8%)	155 (61.0%)	871 (57.2%)	
	解析を行い、利活用方法の アドバイスを実施する機関	93 (30.4%)	116 (33.8%)	294 (47.3%)	127 (50.0%)	630 (41.3%)	
	その他	8 (2.6%)	8 (2.3%)	17 (2.7%)	7 (2.8%)	40 (2.6%)	
	特に必要なし	37 (12.1%)	20 (5.8%)	26 (4.1%)	17 (6.7%)	100 (6.6%)	
	問診票	回答数	303	340	613	254	1510
		集計法・活用法を示した マニュアル	196 (64.7%)	226 (66.5%)	395 (64.4%)	164 (64.5%)	981 (65.0%)
データを管理する 乳幼児健診データベース		149 (49.2%)	184 (54.1%)	339 (55.3%)	146 (57.5%)	818 (54.2%)	
自動解析ソフト		139 (45.9%)	197 (57.9%)	381 (62.2%)	163 (64.2%)	880 (58.3%)	
解析を行い、利活用方法の アドバイスを実施する機関		98 (32.3%)	128 (37.6%)	318 (51.9%)	137 (53.9%)	681 (45.1%)	
その他		8 (2.6%)	9 (2.6%)	15 (2.4%)	6 (2.4%)	38 (2.5%)	
特に必要なし		29 (9.6%)	11 (3.2%)	21 (3.4%)	12 (4.7%)	73 (4.8%)	

「健やか親子 21」中間評価結果について

<表 25> 「健やか親子 21」の中間評価の結果を知っているか？

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	317	349	633	258	1557
結果を知っている	153 (48.3%)	202 (57.9%)	432 (68.2%)	226 (87.6%)	1013 (65.1%)
中間評価が行われたことは知っているが、結果は知らない	148 (46.7%)	134 (38.4%)	190 (30.0%)	28 (10.9%)	500 (32.1%)
中間評価が行われたことを知らない	16 (5.0%)	13 (3.7%)	11 (1.7%)	4 (1.6%)	44 (2.8%)

<表 26> 中間評価では「健やか親子 21」の指標の見直しや新たな指標の追加が行われ、また設定課題毎に重点取り組みが設定されました。貴市町村ではそれに対応した母子保健事業の見直しを実施しましたか？

	人口規模				全体
	～7,999 人	8,000～ 19,999 人	20,000～ 99,999 人	100,000 人～	
回答数	317	349	635	258	1559
見直した	15 (4.7%)	17 (4.9%)	34 (5.4%)	24 (9.3%)	90 (5.8%)
見直す予定	78 (24.6%)	128 (36.7%)	254 (40.0%)	109 (42.2%)	569 (36.5%)
見直すかどうか未定	224 (70.7%)	204 (58.5%)	347 (54.6%)	125 (48.4%)	900 (57.7%)

<資料 1>

市区町村における母子保健データの収集・利活用状況に関する調査票

厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
「健やか親子 21 の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究」班

○ はじめに、貴市区町村の状況についてお教えてください。

市町村・特別区名	都・道・府・県		市・区・町・村	
貴部署名	貴連絡先電話番号			
人口(平成 17 年 10 月 1 日現在)	人	平成 17 年の年間出生数	人	
母子保健担当者数	_____人 (内訳) 母子保健担当保健師：<常勤> _____人 <非常勤> _____人 保健師以外： <常勤> _____人 <非常勤> _____人			
貴市区町村の全保健師数	_____人			

(差し支えなければ、記載頂いた内容についてお問い合わせさせて頂く場合のために、この調査票を記入頂いたご担当者の方のお名前をご記入ください。 <ご担当者名> _____)

市区町村における IT 化整備状況および利用状況に関して

<1> 貴市区町村において母子保健を担当する部署が公的に使用できる電子メールアドレスがありますか。また、それを利用していますか？(○は一つ)

1. アドレスがあり、利用している。
2. アドレスはあるが利用していない。→理由 (_____)
3. アドレスは持っていない。

<2> WWW (World Wide Web=ホームページのこと) を閲覧できる環境がありますか？また、それを利用していますか？(○は一つ)

1. 環境はあり、利用している。
2. 環境はあるが利用してない。→理由 (_____)
3. 環境はない

<3> 貴市区町村のホームページ (HP) はありますか？また、その中に母子保健に関する情報が含まれていますか？(○は一つ)

1. 市町村HPはあり、
母子保健情報も含まれる。⇒⇒
2. 市町村HPはあるが、
母子保健情報はない。
3. 市町村HPはない

どのような母子保健情報を提供していますか？

(該当するもの全てに○)

1. 事業案内
2. 知識の提供 (健康教育的な内容)
3. 統計データ
4. その他 (_____)

<4> 貴市区町村では母子保健の日常業務に必要な最新情報をどのようにして得ていますか？

(該当するもの全てに○)

1. 都道府県や国が実施する研修会・会合を通じて
2. 都道府県などからのニューズレター・文書などを通じて
3. インターネット(ホームページやメーリングリストなど)を通じて
4. 公衆衛生学会などの学術集会に参加することで
5. 公衆衛生学会などの学会誌や専門雑誌(保健師ジャーナルなど)を通じて
6. その他()

コンピュータ導入状況、母子保健に関するデータの電子化状況について

<5> 母子保健担当者が利用できるコンピュータはどれくらいありますか？

インターネットに接続されて <u>いる</u> コンピュータ (○は一つ)	概ね1人に 1台	概ね2人に 1台	概ね3~5人に 1台	6人以上に1台	なし
インターネットに接続されて <u>いない</u> コンピュータ (○は一つ)	概ね1人に 1台	概ね2人に 1台	概ね3~5人に 1台	6人以上に1台	なし

<6> 個人情報が含まれるファイルは主にどのコンピュータで扱っていますか？(○は一つ)

1. インターネットに接続されているコンピュータ
2. インターネットに接続されていないコンピュータ
3. 両方
4. 業務にコンピュータを用いていない

<7> 貴市区町村では健診における小児科診察をどのような形態で実施していますか？

乳児健診時	集団健診 ・ 医療機関委託 ・ 両方 ・ その他()
1歳6か月児健診時	集団健診 ・ 医療機関委託 ・ 両方 ・ その他()
3歳児健診時	集団健診 ・ 医療機関委託 ・ 両方 ・ その他()

<8> 貴市区町村では妊娠届出時の情報や乳幼児健診における各受診者の測定値(身長・体重など)・診察結果、問診票のデータをコンピュータに入力していますか？(○は一つ)

1. いずれも入力せず、紙媒体(母子管理票・健診票・問診票等)のみで管理 ⇒設問<10>へ
2. 入力している(コンピュータデータベースと紙媒体の併用も含む)



入力しているデータに○をつけてください。(該当するもの全てに○)

妊娠届出時の情報	<input type="radio"/>					
健診における測定値(身長・体重等)・小児科診察結果	乳児健診	<input type="radio"/>	1歳6か月児健診	<input type="radio"/>	3歳児健診	<input type="radio"/>
問診票のデータ	乳児健診	<input type="radio"/>	1歳6か月児健診	<input type="radio"/>	3歳児健診	<input type="radio"/>

<9> (設問8で2に○をつけられた方にお聞きします。)

以下の項目について当てはまる箇所についてご記入ください。

(9-1) データの管理にコンピュータを導入したのはいつからですか？	(西暦) 年 月		
(9-2) データベースのソフトはどのようなものですか？ (該当するもの全てに○)	1. 情報システム業者が開発したパッケージ →業者名 () 2. 市販のデータベースソフト (Microsoft Access、Microsoft Excel、FileMaker、桐など) を利用して市町村内部で開発 3. その他 ()		
(9-3) 健診における測定値 (身長・体重など) や小児科診察結果について、どの項目を入力していますか？	1. 健診で得られたほぼ全項目を入力 } →(9-4) へ 2. 項目を選択して入力 3. 入力していない → (9-5) へ		
(9-4) 健診における測定値 (身長・体重など) や小児科診察結果は、主にいつ、誰が入力していますか？ (複数回答可)	いつ? 誰が?		
	1. 健診中にリアルタイムで 2. 健診終了後、その日のうちに 3. 健診終了後、後日に 1. 市町村の母子保健担当者 (非常勤を含む) 2. 母子保健担当者以外の市町村職員 (非常勤を含む) 3. 外部入力業者に発注 4. OCR やマークシートを利用 5. その他 ()		
(9-5) 健診時の問診票に関して、どの項目を入力していますか？	1. ほぼ全項目を入力 } →(9-6) へ 2. 項目を選択して入力 3. 入力していない → (9-7) へ		
(9-6) 問診票のデータは、主にいつ、誰が入力していますか？ (複数回答可)	いつ? 誰が?		
	1. 健診中にリアルタイムで 2. 健診終了後、その日のうちに 3. 健診終了後、後日に 1. 市町村の母子保健担当者 (非常勤を含む) 2. 母子保健担当者以外の市町村職員 (非常勤を含む) 3. 外部入力業者に発注 4. OCR やマークシートを利用 5. その他 ()		
(9-7) データベースは住基システムと連動していますか？	1. はい (一部データのための連動も含む) 2. いいえ		
(9-8) 対象者が成人になっても母子保健データが利用できるよう、成人保健のデータベースと連動していますか？ (○は一つ)	1. 連動している 2. 連動していない → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>今後、連動する予定はありますか?</td></tr><tr><td>1. ある 2. ない 3. わからない</td></tr></table> 3. その他 ()	今後、連動する予定はありますか?	1. ある 2. ない 3. わからない
今後、連動する予定はありますか?			
1. ある 2. ない 3. わからない			
(9-9) 導入済みデータベースは仕様の変更が容易ですか？ (○は一つ)	1. 市町村内部で変更可能 2. 開発業者に依頼すればいつでも可能 → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>その際の費用は?</td></tr><tr><td>1. 無償 2. 保守契約料内 3. 別途発生 4. その他 ()</td></tr></table> 3. 開発業者に依頼すればソフト更新時であれば可能 4. その他 ()	その際の費用は?	1. 無償 2. 保守契約料内 3. 別途発生 4. その他 ()
その際の費用は?			
1. 無償 2. 保守契約料内 3. 別途発生 4. その他 ()			

(9-10) データベースにはデータを別ファイルとして取り出す(エクスポートする)機能はありますか? (一部項目のみ可能の場合も含む)	1. ない 2. <u>ある</u> →→→	エクスポート可能なファイル形式は? (複数回答可) 1. テキストファイル 2. Excel 形式 3. その他 ()
(9-11) データ入力システム(データベース)には、入力されたデータについて集計する機能がありますか?	1. 機能がない 2. <u>機能がある</u> ⇒⇒	集計機能を利用していますか? 1. 利用している 2. 利用していない
(9-12) 電子化されたデータを他のソフト(Excel や SPSS、SAS など)を用いて集計・解析していますか?	1. している 2. していない	

<10> (設問 8 で 1 に ○ をつけられた方にお聞きします)

今後、健診データや問診票のデータをコンピュータに入力し、管理する予定はありますか?

1. 導入の予定あり
2. 導入したいが、今のところ予定はない

→理由

(該当するもの全てに○)	1. データベースシステムを導入する予算がない	3. データを入力する人がいない
2. データベースの導入準備をする時間がない	4. その他 ()	

3. 導入したいと思わない

→理由()

母子保健データの利活用状況について

<11> 以下の項目について、貴市区町村の状況をお教えてください。

(「データの集計・分析」はコンピュータデータベースの利用にかかわらず、
また「集計・分析結果の利活用状況」は集計・分析方法にかかわらず、ご回答ください。)

	調査の有無	コンピュータデータベースへの入力	データの集計・分析	集計・分析結果の利活用状況 (該当するもの全てに○)
1歳6か月健診における児の身長・体重	1. 測定している 2. 測定していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析してない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()
1歳6か月健診における医師の判定結果	1. 判定している 2. 判定していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析してない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()

妊娠届出時の状況 (例：喫煙状況など)	1. 妊娠届出票で調査 2. 乳幼児健診時の問診票で調査 3. その他の方法で調査 4. 調査していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析していない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()
育児期間中の母の喫煙状況	1. 乳幼児健診時の問診票等で調査している 2. 調査していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析していない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()
育児不安に関して	1. 問診票等で調査している 2. 調査していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析していない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()
虐待(親子関係)に関して	1. 問診票等で調査している 2. 調査していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析していない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()
家庭における事故予防対策に関して	1. 問診票等で調査している 2. 調査していない	1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析していない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()
上記以外の項目		1. している 2. していない	1. コンピュータを用いて集計・分析している 2. 手集計している 3. 集計・分析していない	1. 都道府県へ定期的に報告 2. 内部資料として事業の企画や評価に利用 3. 広報誌などを通しての住民への情報提供 4. 個人へ集計結果を還元 5. 医療機関へ集計結果を還元 6. 公衆衛生学会などの専門家の会議で報告 7. その他 ()

<12> 現在、同一都道府県以外の市区町村における母子保健統計情報について、都道府県から情報提供されていますか？（○は一つ）

1. 情報提供されていない
2. 母子保健統計情報をまとめた冊子（『〇〇県の母子保健』といったタイトルのもの等）やWeb、研修会を通して情報提供されている

提供されている母子保健統計情報を地域の母子保健活動に利活用していますか？

1. 利活用している
2. あまり利活用できていない
3. どちらともいえない

<13> 同一都道府県内の他の市区町村における母子保健統計情報を利用して他地域とのデータ比較を行うことは、母子保健活動を進める上で必要だと思いますか？（○は一つ）

1. 思う
2. 思わない
3. どちらでもない

<14> 貴市町村の母子保健データの集計・分析作業をどこで行うのがよいと思いますか？

（該当するもの全てに○）

1. 市区町村で行う
2. 保健所が管轄市町村の分をまとめて集計・分析し、各市町村に還元
3. 都道府県が集計・分析し、各市町村に還元
4. 業者・シンクタンク
5. 大学などの研究機関
6. 国(厚生労働省など)
7. その他()
8. 集計や分析の必要はない

<15> 貴市区町村に転入してきた乳幼児について、前居住地の母子保健担当者に乳幼児検診の結果や指導結果、状況を問い合わせていますか？（○は一つ）

1. ほぼ全転入者について問い合わせている
2. 必要のある場合は問い合わせている
3. ほとんど問い合わせしていない

<16> 貴市区町村に転入してきた乳幼児について、前居住地での乳幼児検診の結果や指導結果、状況が伝達される仕組みが必要だと思いますか？（○は一つ）

1. 必要だと思う
2. 必要だと思わない
3. わからない

<17> 貴市町村では同一個人の異なる時期の乳幼児健診データを連結して集計・分析するということを行っていますか？（〇は一つ）

1. 行っている
2. 行っていない

乳幼児健診時の問診票・健診項目について

<18> 以下について当てはまるところに〇をつけてください。

	健診で測定する項目(身長・体重) 医師が診察・判定する項目	問診票
現在、実施している健診項目・問診票はどのようにして決めましたか？ (該当するもの全てに〇)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都道府県や国から示されたモデルをほぼそのまま利用(乳幼児健康診査マニュアルなど) 2. 都道府県や国から示されたモデルを参考に改変して利用 3. 他地域や研究等で使用されているものをほぼそのまま利用 4. 他地域や研究等で使用されているものを参考に改変して利用 5. 他のものをほとんど参考にせず、自分たちで決定 6. その他() 7. わからない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都道府県や国から示されたモデルをほぼそのまま利用(乳幼児健康診査マニュアルなど) 2. 都道府県や国から示されたモデルを参考に改変して利用 3. 他地域や研究等で使用されているものをほぼそのまま利用 4. 他地域や研究等で使用されているものを参考に改変して利用 5. 他のものをほとんど参考にせず、自分たちで決定 6. その他() 7. わからない
平成13年4月から現在までに、実施内容の見直しが行われましたか？ (〇は一つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行った →改訂回数(回 ・ 不明) 2. 見直していない 3. 不明 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行った →改訂回数(回 ・ 不明) 2. 見直していない 3. 不明
今後、エビデンスに基づいた健診項目、問診項目や調査票のひな形(モデル)が提示されれば取り入れますか？(〇は一つ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 3. わからない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ 3. わからない

	健診で測定する項目(身長・体重) 医師が診察する項目	問診票
乳幼児健診で得られたデータを利活用するために必要と思うものはなんですか？ (複数回答可)	1. 集計法や活用法を示したマニュアル 2. データを管理する乳幼児健診データベース 3. 自動解析ソフト(項目に応じて利活用しやすい解析結果を提示してくれるソフト) 4. 解析を行い、利活用方法のアドバイスを実施する機関(大学・シンクタンクなど) 5. その他 () 6. 特に必要なし	1. 集計法や活用法を示したマニュアル 2. データを管理する乳幼児健診データベース 3. 自動解析ソフト(項目に応じて利活用しやすい解析結果を提示してくれるソフト) 4. 解析を行い、利活用方法のアドバイスを実施する機関(大学・シンクタンクなど) 5. その他 () 6. 特に必要なし

「健やか親子 21」中間評価結果について

<19> 平成 17 年度に厚生労働省において「健やか親子 21」の中間評価が実施されましたが、中間評価の結果についてご存知ですか？ (○は一つ)

1. 中間評価結果を知っている
2. 中間評価が行われたことは知っているが、結果は知らない
3. 中間評価が行われたことを知らない

<20> 中間評価では「健やか親子 21」の指標の見直しや新たな指標の追加が行われ、また設定課題毎に重点取り組みが設定されました。貴市区町村ではそれに対応した母子保健事業の見直しを実施しましたか？

1. 見直した
2. 見直す予定
3. 見直すかどうか未定

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

通信欄：

本調査に関してご不明な点などがございましたら、下記までお問い合わせください。

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学社会医学講座(福祉保健医学)

田中太一郎 吉田 稔美 岡村 智教

電話：077-548-2191 FAX：077-543-9732 E-Mail：taichiro@belle.shiga-med.ac.jp

恐れ入りますが、9月30日(土)までにご返送ください。

母子保健情報の収集と利活用のためのツールの開発

田中 太一郎（山梨大学大学院 医学工学総合研究部 社会医学講座）
鈴木 孝太（山梨大学大学院 医学工学総合研究部 社会医学講座）
松浦 賢長（福岡県立大学看護学部 地域・国際看護学講座）
山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター 保健室）
尾島 俊之（浜松医科大学 健康社会医学）
谷原 真一（福岡大学医学部 衛生学教室）
山中 龍宏（緑園こどもクリニック）
薬袋 淳子（国際医療福祉大学 在宅地域ケア研究センター）
山縣 然太郎（山梨大学大学院 医学工学総合研究部 社会医学講座）

平成 17 年度に取りまとめられた「健やか親子 21」の中間評価報告書において、「母子保健情報の収集と利活用のためのシステムの構築」が今後の課題としてあげられている。本研究班では「母子保健情報の収集・利活用システム」の一つのモデルとして、市町村で得られた乳幼児健診データを電子化して管理し、保健所にて管内市町村分の電子化データをまとめて集計・解析し、市町村、さらには住民へと還元するというものを提示している。今回、このモデルシステムを運用していくために必要な 2 つのツール（①データを電子化するためのソフト（「母子保健情報データベース」）、②集計データの利活用方法についてのマニュアル（「母子保健データ利活用マニュアル」））の開発を行った。

データベースソフト「母子保健情報データベース」は情報システム業者と共同し、Microsoft Access を用いて開発を行った。「母子保健情報データベース」は乳幼児健診のデータを入力できるだけでなく、主な項目について自動で集計結果が出力されるようにした。

「母子保健データ利活用マニュアル」では、乳幼児健診で得られるデータのうち主な 25 項目について、集計方法や「保健所から市町村への還元方法」「市町村における利活用方法」を提示した。

今後、これらの 2 つのツールについて実際にいくつかの市町村で使用して修正・改善を行い、多くの市町村・保健所に広く普及させていくことが重要である。

A. 研究目的

「健やか親子 21」の中間評価が平成 17 年度に実施され、その中間評価報告書がとりまとめられたが、その中で「母子保健情報の収集と利活用のためのシステムの構築」が今後の課題と

してあげられている。母子保健施策に必要な科学的根拠を得て適切な事業の企画・実行・評価を行うためには、母子保健情報の収集・分析・活用の体制を整えたモニタリングのシステムを構築することが必要である。

モニタリングシステムのモデルの一つとして、別項でも述べられているように、市町村で得られた乳幼児健診データを電子化して管理し、保健所にて管内市町村分の電子化データをまとめて集計・解析し、市町村、さらには住民へと還元するというものがあり、現在、本研究班においていくつかの地域でこのシステムを運用し、実効性の検証を行っている。このシステムを運用するためには、健診データを電子化するということが必要不可欠であるが、全市町村を対象に今年度、実施した「市町村における母子保健データの収集・利活用状況調査」では、現在、乳幼児健診のデータを電子化して管理している市町村は約半数ほどであることが明らかになった。また、健診データを電子化しているかどうかにかかわらず、健診で得られたデータを集計・分析できていない市町村も多く、集計・分析を行っていても「内部資料として事業の企画や評価に利用」しているのみで、現状では普段の母子保健活動に十分に利活用されていないことが明らかとなった。

そこで、今年度、本研究班ではモニタリングシステムを運用する上で必要となる 2 つのツール、つまり、

- ① データを電子化するためのソフト
（「母子保健情報データベース」）
- ② 集計データの利活用方法についてのマニュアル（「母子保健データ利活用マニュアル」）

の作成を行ったので報告する。

B. 研究方法

本研究班では平成 17 年度に Microsoft Access を用いて乳幼児健診データ用の簡易データベースを作成し、いくつかの市町村で実際に使用した。今回は昨年度に開発したデータベースを基本として、それにデータ集計機能等を

付加したものを、情報システム開発業者に依頼し、データベースシステムの作成を行った。

また、本研究班では別項で述べているように、乳幼児健診時に実施する問診項目・健診項目について、エビデンスに基づいたモデル項目を設定している。今回、それらのモデル項目のうち、その主な項目について、保健所や市町村の母子保健担当者がデータを集計したり、集計結果を母子保健活動に利活用したりするためにはどうすればよいかの具体例を提示するために、集計方法・利活用方法を示したマニュアルを作成した。なお、利活用マニュアルで取り上げる項目はモデル健診・問診項目のうち「健やか親子 21」の目標値に関連がある項目を中心に選んだ。また、マニュアルは項目毎に、その分野についての知識・経験が豊富な研究班所属の研究者が執筆した。

C. 研究結果

① データベースソフト「母子保健情報システム」の作成

乳幼児健診のデータを電子化するためのツールとしてデータベースソフト「母子保健情報システム」を作成した。データベースの作成にあたっては、入力項目の仕様書を研究班で作成し、それをもとに情報システム開発業者がデータベースプログラムの構築を行った。データベースシステムは Microsoft Access を用いて構築した。

データベースは保護者情報と児童情報が入力できるようになっており、児童情報は保護者情報に関連づけられて管理されている。「保護者情報 メニュー選択画面」を<図 1>に、「保護者情報 新規登録画面」を<図 2>に示す。

今回作成したデータベースでは、健診項目・問診項目の入力可能項目について、本研究班で作成したモデル健診項目・問診項目とした。問

診データ・健診データの入力画面例を<図 3>、<図 4>に示す。なお、本データベースには保護者情報、児童情報、問診・健診データなどを CSV ファイルなどからインポートしたり、CSV ファイル・Excel ファイルにエクスポートできる機能も設けた。「データエクスポート機能 メニュー選択画面」を<図 5>に示す。

データベースに入力したい項目は市町村毎に異なる可能性があるため、本データベースでは問診・健診項目について、入力項目を追加・変更できるようにした。問診データに関する入力項目の設定画面例を<図 6>に示す。設定画面の「項目名」や「コンボ種別」を変更することで、入力データのフィールド名や入力の際のコンボボックスの内容を変更できるようになっている。

② 「母子保健データ利活用マニュアル」の作成

乳幼児健診で収集したデータをどのように集計・分析すればよいか、また集計結果を普段の母子保健活動にどのように利活用すればよいかの例を保健所・市町村の母子保健担当者に提示するために、「母子保健データ利活用マニュアル」を作成した。

集計・利活用例の提示は、「妊娠届出時の情報」に関連したもの：1 項目、「健診票から得られたデータ」に関連したもの：9 項目、「問診票から得られたデータ」に関連したもの：15 項目の計 25 項目について行った。利活用例を提示した項目の一覧を<表 1>に示す。マニュアルでは、どの変数を用いて集計を行い、どのような集計結果を作成するのか、またその集計項目の意義・エビデンスなどについて記載した。また、「保健所から市町村への還元方法」「市町村における利活用方法」についても提示した。マニュアルの内容の例を<図 7>に示す。

なお、マニュアルに取り上げた集計項目に関しての集計結果を自動で作成する機能を前記のデータベースソフト「母子保健情報システム」に設けた。集計結果出力例を<図 8>に示す。また、保健所で管内市町村のデータをまとめて自動的に集計するためのソフトについては現在、作成中である。

D. 考察・まとめ

今回、乳幼児健診データの電子化及び集計を行うためのデータベースソフト、および乳幼児健診で得られたデータをどのように集計し、集計結果をどのように母子保健活動に利活用するかについて提示した「利活用マニュアル」を作成した。

現在、本研究班では母子保健情報の収集・分析・活用の体制を整えたモニタリングのシステムのモデルとして、市町村で得られた乳幼児健診データを保健所に提出し、保健所が管内市町村の分をまとめて集計・分析し、集計結果及び市町村における母子保健活動へのアドバイスを保健所が市町村に返すというシステムを提示し、現在、その実効性の検証を行っている。今年度、本研究班では全市町村を対象に「市区町村における母子保健データの収集・利活用状況に関する調査」を実施したが、その中でも、「市町村の乳幼児健診で得られた母子保健データの集計・分析をどこで行うのがよいのか」という設問に対して、「保健所が管轄市町村の分をまとめて集計・分析し、各市町村に還元」「都道府県が集計・分析し、各市町村に還元」という回答がそれぞれ 6 割前後あった。同調査では問診データや健診データを集計・分析できていない市町村が、調査項目によって差はあるが、約 4 割前後あることも明らかになっており、その点からも保健所や都道府県が管内市町村のデータをまとめて集計・分析するというこ